

図書館だより



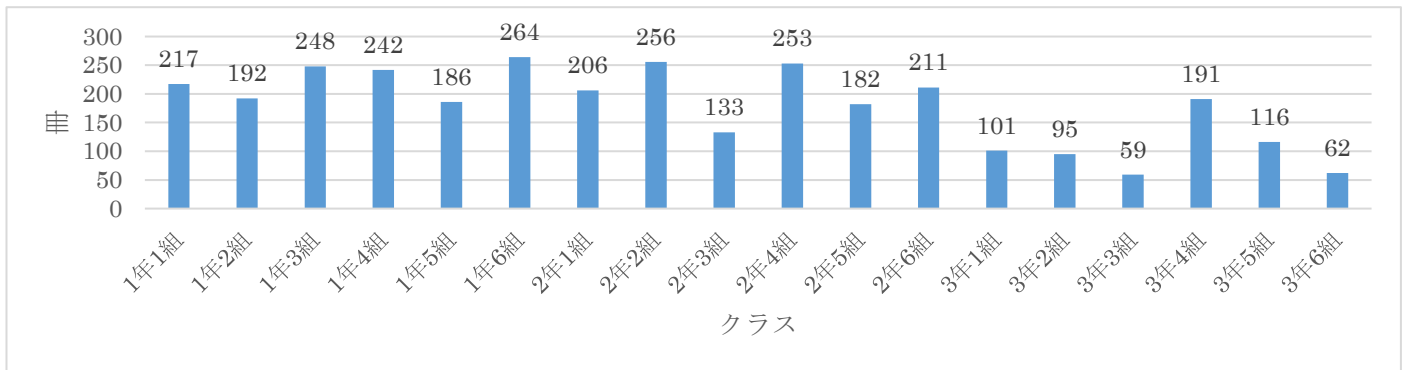
武雄高等学校 図書指導部

令和2年3月18日発行

3月に入って暖くなり、春の訪れを感じられるようになりました❀1・2年生のみなさん、今年度1年間の図書館利用ありがとうございました☆この1年間でたくさんの素敵な本に出会えたのではないのでしょうか。また、4月からのみなさんの来館を心よりお待ちしております(*'▽')

令和元年度 クラス別年間貸出総数

※2019.4.1~2020.2.29



◇令和元年度・図書指導部 目標と達成状況◇

①貸出総数 3500 冊以上

→貸出総数は 3400 冊でした。1年生はたくさん借りてくれましたので、2年生になってもこの調子でいっぱい借りてください☆2年生は、いよいよ受験生。卒業生の中に、小論文が書けず「普段から本を読んでいればよかった…」と後悔していた人がいました。受験対策のためにも、来年度もさらに読書に親しんで欲しいと願っています。

②各クラス 60%以上の生徒が貸出冊数 2 冊以上 (特に 1・2 年生)

→今年は特定の生徒だけでなく、幅広い生徒のみなさんに図書館を利用して欲しくて、この目標を設定しました。図書委員さんや先生方が学級文庫の入れ替え、朝読書の呼びかけなどを積極的に行ってくれたため、**1年生は 5/6 クラス、2年生は 6/6 クラスで目標を達成しました☆**特に 2年生では、100%の生徒が 2 冊以上借りた、そういうクラスもありました❀

☆図書委員を始めとした生徒のみなさん、先生方のご協力のおかげで、図書館の活動を活性化できたと感じています。1年間ご協力、本当にありがとうございました。

令和元年度 貸出 BEST5

※2019.4.1~2020.2.29

☆貸出回数No.1 (年間7回) ☆

『麦本三歩の好きなもの』住野 よる【著】
(幻冬舎)



朝寝坊、チーズ蒸しパン、そして本。好きなものがたくさんあるから毎日はきっと楽しい。図書館勤務の 20 代女子、麦本三歩の何気ない日常。

残り 4 作は同率 2 位でした!

貸出回数は年間 6 回です(^^) /

- ・『フーガはユーガ』伊坂幸太郎
- ・『その日、朱音は空を飛んだ』武田綾乃
- ・『マリー・アントワネットの日記 (Rose/Bleu)』吉川トリコ
- ・『県庁おもてなし課』有川浩

『糸』

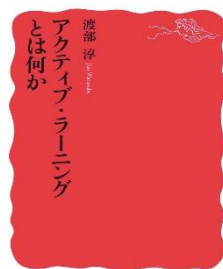
林 民夫【著】 (幻冬舎)



北海道で生まれ育った高橋漣は、花火大会で出会った園田葵に一目惚れ。彼女が義父から虐待されていることを知るが、まだ中学生の漣には何もできなかった。それから8年。漣は地元のチーズ工房で働き、葵は東京にいた。遠い空の下、互いを思いながらも、すれ違いと別れを繰り返す二人。それぞれの人生を歩んできた男女が、再び巡り逢うまでの物語。

『アクティブ・ラーニングとは何か』

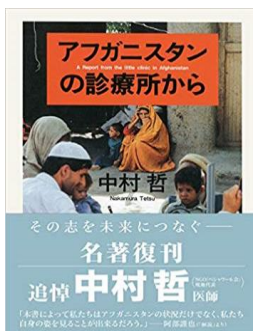
渡部 淳【著】 (岩波書店)



新指導要領のもと本格始動する「学び方改革」の目玉なのに、中身への理解も導入準備も進んでいないアクティブ・ラーニング。しかしそこで展開される互恵的で深い学びは、自立的学習者、民主主義の手続きと運用に習熟した自律的市民の育成につながる大きな可能性を持つ。「学びの演出家」の第一人者が実践的に解説した一冊。

『アフガニスタンの診療所から』

中村 哲【著】 (筑摩書房)



幾度も戦乱の地となり、貧困、内乱、難民、人口・環境問題、宗教対立等に悩むアフガニスタンとパキスタンで、ハンセン病治療に全力を尽くす中村医師。中村氏と支援団体による現地に根ざした実践から、真の国際協力のあり方が見えてくる。

『AI 崩壊』

浜口 倫太郎【著】 (講談社)



2030年、日本は投棄、治療、体調管理までを担う画期的なAI「のぞみ」に社会を委ねていた。しかしその理想的な世界が一転、何者かに暴走させられたAIはついに命の選別を始める。止められるのは警察に追われる天才科学者、桐生浩介。限られた時間の中で国民の命は守れるのか。

中村哲医師は、1946年福岡市生まれ。九州大学医学部卒業。PMS（ペシャワール会医療サービス）総院長。1984年にパキスタンのペシャワールに赴任。2000年以降は、アフガニスタンの大干ばつ対策のための水源確保事業を実践。2019年12月、アフガニスタンのジャララバードで凶弾に倒れる。享年73歳。

❀お知らせ❀

春休み期間中（3/25～4/5）の閉館時間は 16:30 です

❀お願い❀

- ① 図書委員さんは、学級文庫の返却をお願いします！
- ② 3月23日に督促状を配布予定なので、もらった人は早めに返却してください！（学級文庫で借りた本も早めの返却を！）

